

蔵王町食育推進計画

平成22年度～29年度(ダイジェスト版)



ざおうの食育キャッチフレーズ

ざおうび
「30日は蔵王ごはん、家族団らんの日」

【食育とは】

生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基本となるべきもの
様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること

(食育基本法より)

蔵王町

●計画策定の背景●

食をめぐる現状

子どもや若い世代が朝食を食べない
子どもの肥満と成人のメタボリックシンドロームの増加
食料自給率の低迷
食の安全性の危機
伝統的な食文化が失われつつある

「食育基本法」「食育推進基本計画」

「宮城県食育推進プラン」(五感を磨いて、みやぎの食をいただきます)

「蔵王町食育推進計画」(平成22年から平成29年度までの8年間)

●基本理念●

蔵王の「食」を次世代につなげ、食を選ぶ力と楽しむ心を育てます

「第四次蔵王町長期総合計画」の基本理念は「町民が主役、地域が主体のまちづくり」を掲げています。
食育推進の基本理念も町民や地域を主体に蔵王町の豊かな自然を生かし、子どもから大人まで様々な経験を通して、「食」に関する知識と「食」を選択する力を学びながら、みんなで創る町づくりを目指します。

●基本目標●

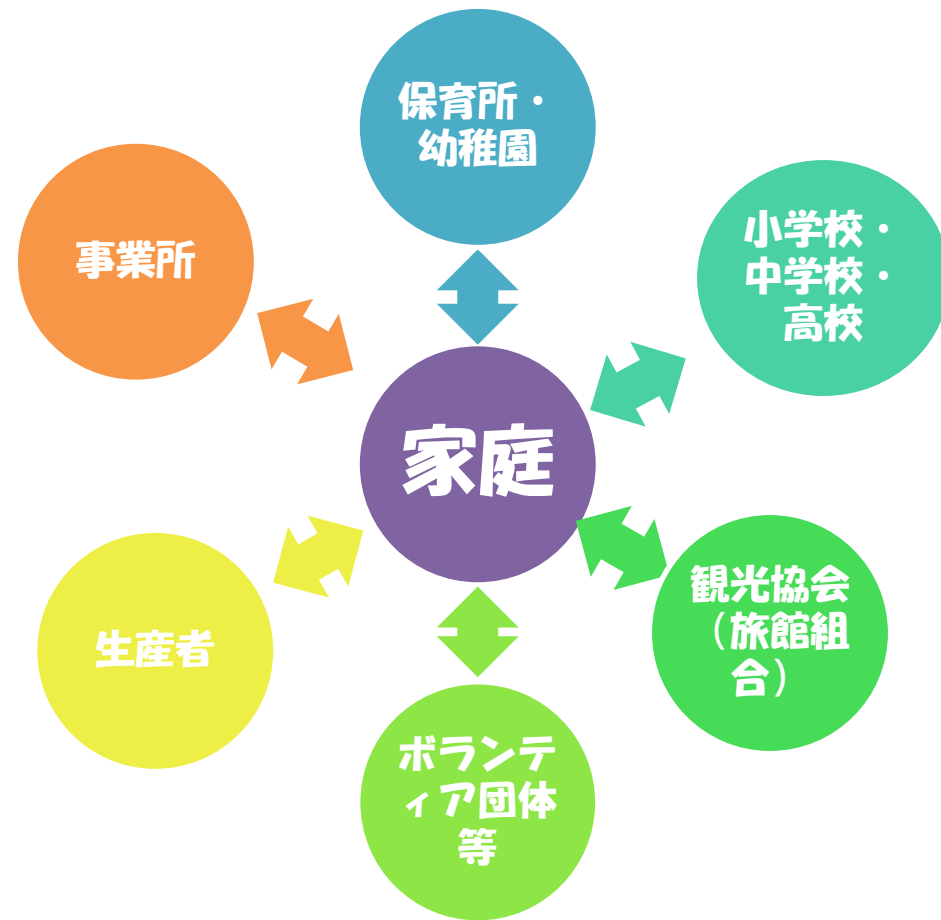
- (1)食を通して、町民が生涯にわたり健全な心身を培い、豊かな人間性を育むことを目指します
- (2)蔵王の豊富な食材の推進と、安全・安心な食環境をつくることを目指します

●町民運動●

30日(ざおうび)は蔵王ごはん、家族団らんの日」

月に1度は家族いっしょに、蔵王の食材で楽しく食事をする日「30(ざおう)日」を設定しました

● 食育推進体制 ●



1. 家庭の役割

- ・家庭における食育の大切さを再認識して、家族の食習慣の定着や食育に積極的に取り組みます

2. 保育所・幼稚園・児童館・学校の役割

- ・保育所・幼稚園では基本的な食習慣を身につけ、食に興味をもち、楽しく食事ができるよう配慮します。
- ・学校では、地域、行政、食育関係団体との連携を図りながら食育体験学習などを取り入れ、食育を推進します

3. 地域・関係団体の役割

- ・食に関するボランティア団体などにより、様々な機会を利用して、食育に関する普及啓発に努め、地域に残る郷土料理や伝統料理の継承に努めます

● 目標の達成にあたっての数値指標 ●

食育の推進、課題の改善の状況を、客観的な指標により把握するために、目標値を設定し家庭・学校等・地域・行政が連携して目標を達成できるように努めます。

1. 朝食を毎日食べる人の割合が増える

小学5年生 **88%** → **97%**
 中学2年生 **75.4%** → **83%**

2. 児童生徒の肥満傾向児の割合が減る

小学5年生 **12.40%** → **10%以下**
 中学2年生 **14.28%** → **10%以下**

3. 成人の肥満者の割合が減る

40歳以上(男性) **25.2%** → **20%以下**
 40歳以上(女性) **28.1%** → **20%以下**

4. 子どもの虫歯の本数の割合が減る

3歳児 **2.42本** → **2.18本以下**

5. 1日に必要な野菜の量を知っている人の割合が増える

成人 **8.2%** → **50%**

6. 夕食を家族そろって食べる割合を増やす

幼児 **84.9%** → **100%**

7. 30日は蔵王ごはんの日を実践している人の割合を増やす

→ **80%**

8. 学校給食に町内米を提供する回数(仙南地区産米から蔵王町産米にする)

小・中学校 → **週4日**

9. 学校・地域等の健康教室へ食育推進ボランティアの活用

→ **年6回**

蔵王町役場 保健福祉課 保健予防係

TEL 33-2003 / Fax 33-2988